



2025年4月7日

各 位

所在地 大阪府岸和田市土生町1丁目4番23号
会社名 フジ住宅株式会社
代表者名 代表取締役社長 社長執行役員 宮脇 宣綱
(コード番号 8860 東証プライム市場)
問合せ先 常務執行役員 IR室長 野口 恭久
(TEL 072-437-9010)

東京都公式ウェブサイトにて当社のテレワーク活用事例が紹介されました

このたび、当社のテレワークに関する取り組みが評価され、東京都の公式ウェブサイトにて活用事例として当社が紹介されました。本掲載は、当社が『一般社団法人日本テレワーク協会主催「第25回テレワーク推進賞」実践部門 特別賞（注）』を受賞したことが契機となったものであります。

記

当社では、テレワークを日常業務の中で使うことで柔軟で働きやすい就労環境の実現に努めて参りました。また、DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進し、営業や建築現場での業務効率化を図るとともに、協力会社との受発注のシステム化やペーパーレス化にも取り組んでいます。

東京都の公式ウェブサイトでは、多くの企業に多様な働き方の参考となるテレワーク活用事例が紹介されており、今般、当社のテレワーク事例がそれら参考事例の一つとして紹介されることとなりました。

（注）「第25回テレワーク推進賞」実践部門 特別賞

当社は、2024年に開催された一般社団法人日本テレワーク協会が主催する「第25回テレワーク推進賞」において、「実践部門 特別賞」を受賞いたしました。

「テレワーク推進賞」は、一般社団法人日本テレワーク協会が、ICT（情報通信技術）を活用した場所や時間にとらわれない柔軟な働き方の普及促進を目的として、2000年度より実施している表彰制度です。

当社におけるテレワーク推進賞の選定は、2021年・2022年に続き、2024年で3度目の選定となります。

【一般社団法人日本テレワーク協会からの当社「実践部門 特別賞」選定における「審査コメント」】

- 1、2017年度からテレワークを本格導入し、「社員と社員の家族のためのテレワーク」の理念の基、障がい者支援、社員の事情に合わせた多様な働き方を高いレベルで持続しており、その粘り強い継続性が高く評価されました。
- 2、テレワーク推進賞の受賞経験を持つ貴社ではありますが、自社でのテレワークの実践にとどまらず協力会社を巻き込んだIT化で住宅事業に欠かせない施工管理情報や現地査定業務の改善等の効率化も進めており、今後の拡大が望まれる住宅建設現場でのテレワーク活用による成長を実感させる活動であることが、期待感を高めました。
- 3、貴社の取り組みは働きやすい社会の実現に貢献するものであり、他の企業が見習うべき事例であることから特別賞にふさわしいと評価されました。

<御参考> 東京都ウェブサイト 当社掲載ページ

https://www.telework-rule.metro.tokyo.lg.jp/leader_powerup/case/details_unique_initiative.php?case_id=22

今後ますます従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、健康増進に取り組む企業として長期的な視点から業績・企業価値の向上を実現して参ります。

以 上